

全仏

ZENBUTSU



484

仏暦2545年12月（2002年）
財団法人 全日本仏教会
JAPAN BUDDHIST FEDERATION



真宗大谷派真宗本廟視聴覚ホールで行われた同和研修会（関連記事4頁）

教化セミナー
加盟団体訪問

教化セミナー

「公益法人見直しの中で

いま、お寺の在り方を考える」(中)
 現代の寺院と僧侶は何をすべきか

前号に引き続き、十月三日、本願寺築地別院で開催された教化セミナーより、長谷川正浩師(本会顧問弁護士)の講演要旨を掲載する。

* * *

公益法人が今見直されているということで、宗教法人の公益性を改めて考えてみた。

宗教法人の公益性について述べた論文は、ほとんどない。かつて、日宗連が宗教法人の税制問題について本を作ろうと企画したことがあった。このとき、岸本英夫先生の著書「宗教」で指摘されている、社会の場における宗教現象の帯価性宗教的価値体、創価性宗教的価値体、蓄価性宗教的価値体の三つをもとに、宗教法人の公益性を考えた。

第一は、価値の創造ということで、宗教は価値を創造する機能をもち、創造された価値は、宗教活動を通じ不特定多数の者の利益に奉仕する。公益性は、法律上不特定多数の者の利益と言われている。宗教は価値を創造することによって不特定多数の者の利益に奉仕するというのが、一番目の価値の創造的な機

能における宗教法人の公益性である。そこで問題になるのが現在の仏教は、価値をどのようにして創造しているのか。

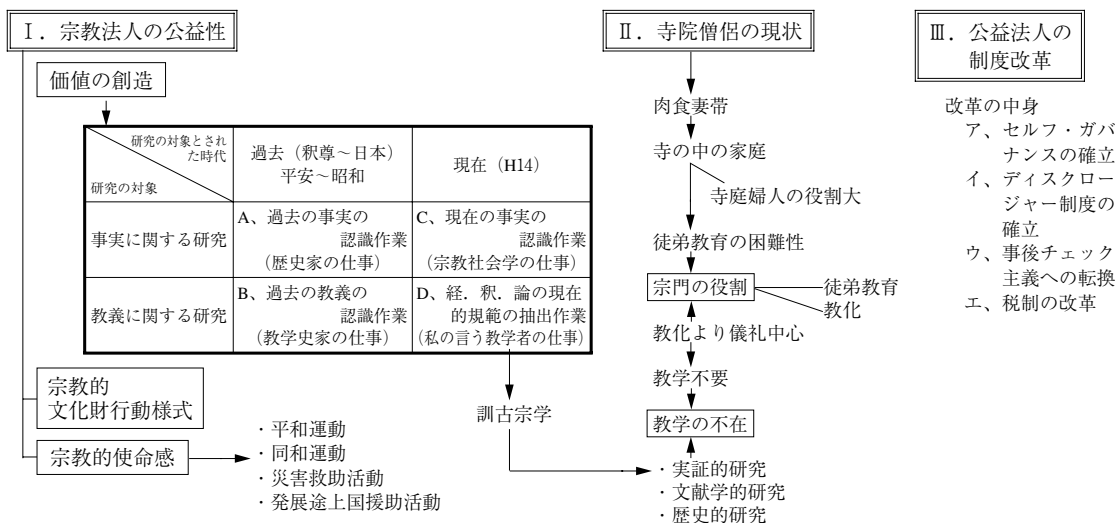
私の意見では、価値の創造の役割を担っている方は、教学の先生方(大学等)である。教学の先生方は、戦後の訓古宗学に対する批判から、実証的な研究、文献学的研究、歴史学的研究という方法を使った学問的成果を多数あらわしておられる。

ところが、それらの研究は、
 A 過去の事実の認識作業(歴史家の仕事)
 B 過去の教義の認識作業(教学史家の仕事)
 C 現在の事実の認識作業(宗教社会学者の仕事)
 D 経・論・釈の現在の規範の抽出作業(私の言う教学者の仕事)

に分かれる。価値が創造されるのは、A・B・Cの研究を元にして、実はD(経・論・釈)における現在の規範の抽出)のところである。この経・論・釈から、現在の規範を抽出する作業があまり行われていない。このDに関する研究をしている教学者があまりいらっしやらない。

例えば、脳死の問題、脳死は人工呼吸器が発明されたから起きた状態であって、釈尊や祖師の時代になかった。教えのなかに脳死の概念がないのは当然であり、A・B・Cといった研究成果を元にして、現代に釈尊や祖師が生きておられたならば、どういうふうにいわれるだろうかと価値観を抽出していかなければならぬ。このDが現在非常に欠けていると思われる。

訓古宗学は、当時のこのDに位置づけられていたのかもしれないが、宗学・教学を客観化しようとするところから、実証主義・文献学主義・歴史主義というような方法が採られてきた。その結果A・B・Cの研究に片寄ってしまった。A・B・Cは、科学として扱い易いわけで、価値観をいうDは科学的でないといった批判に従ってしまったのではないかと。一方では、教学が寺院僧侶にあまり必要でなくなってしまったということに原因があるかもしれない。それは、寺院僧侶の現状を考えるとみると判る。明治時代に肉食妻帯が認められ、お寺の中に家庭ができた。これは、在家主義へ移行する結果になった。そして、徒弟教育が困難となり、徒弟教育は宗門の役目となった。檀家に接する僧侶も仏教的規範を強調することよりも儀礼中心になり、教学の知識が必要でなくなってしまう。



例えば、ある宗派の研究報告によると、僧侶の約八割が教化活動をおこなっており、その中の八割が教化活動をして感動したといっている。ところが感動の理由は、相手の人格にふれたとか、活動に理解を示して頂いたというもので、教義と無関係のところまで感動している。教化活動は教義がなくてもできるのかもしれない。或いは、学者の教義の研究成果を教化活動によって応用するのではなく、自分なりに勉強し自己流に教義を解釈して活動しているのかとも思う。以上が公益性の価値の創造に関する問題点である。

第二は、宗教的文化財や行動様式が不特定多数の人々に寄与している。例えば、宗教的な絵画・建物・音楽これらは長年により価値が蓄積する公益性の中身である。

第三は、宗教的使命感により、不特定多数の人々の利益に寄与する。例えば、平和運動、同和運動、災害救助活動、発展途上国援助活動をご宗門或いは僧侶個人でやっている。これは、宗教的使命感が背後にある。戦後、託児所が不足しており、お寺や教会などが場所を提供した。この背後にも宗教的使命感があった。託児所が、だんだん整備されると国がある基準を設け、基準に合うところに補助金をだすようになった。そうすると、宗教色を出すなど言ってくる。しかし、元々は宗教的使命感があったから、整備されてきたという

ことを忘れてはならない。

公益法人の制度改革が言われているが、「公益法人制度の抜本的改革に向けて」の概要（E1482 内閣官房行革推進事務局）の中で、「適正運営の確保」について議論されている。

ア、セルフ・ガバナンス（法人の自治制度）の確立

イ、ディスクロージャー制度の確立 利害関係人を対象としての情報開示

ウ、事後チェック主義への転換 従来は設立時に厳しくして、一旦設立されてしまえば取り消されることはほとんどなかった。今後は、準則主義といって一定の条件を満たしていれば、設立させるかわりに、不適当なことをすれば簡単に取り消すという制度にかえようとしている。

エ、税制に関して言えば、現在のように一律に課税しないのではなく、減免措置をとるにふさわしい要件を備えた宗教法人だけを減免することしようと考えている。しかし、まだ具体化はしていない。

こういう考え方であるとその宗教法人は減免に相応しいとか、相応しくないという捉え方をされる危険がある。これでは、私たち弱小寺院にとっても厳しい状況になると思われる。小さなお寺では、減免にふさわしい要件を備えることが難しいからである。

ルンビニー園マヤ堂

発掘遺物管理移管完了

十月二十二日より十一月三日まで、ネパール王国へ渡邊宗徹国際文化部長と上坂悟本会派遣考古学者が出張した。

マヤ堂修復事業のネパール側当事者である、LDT副委員長のガウチャン氏らと交渉を行



遺物管理移管処理完了に伴う同意書に署名するLDTガウチャン副委員長

い、十一月一日、ルンビニーで両者立会いのもと、数年来の懸案であったネパール側への遺物管理移管処理を完了した。

現在ルンビニー園では、ネパール側の手によってマヤ堂の修復工事が行われている。本会としてはマヤ堂遺跡考古学調査報告書の作成を続けており、早期の発刊を期すべく努力を続けている。(詳細は別途報告)

大阪府佛教徒大会

十一月十三日午後三時より、ホテル日航大阪で、第三十七回大阪府佛教徒大会が開催された。本会から、島田喜久監事が出席した。

第一部の式典では、音楽法要が厳修され、増田貞圓大阪府佛教会会長の挨拶の後、来賓として、島田喜久監事が本会森和久理事長の祝辞を奉読した。

第二部のシンポジウムでは、「男女共同参画社会を問う」と題し、討論会が行われた。多くの参加者のもと盛会であった。

花まつりポスター

本会が毎年頒布しております、花まつりのポスターです。価格は従来通り、一枚百円で、送料は実費ご負担下さい(着払)。お申し込みは五枚以上で、本会事務局まで FAX (〇三―三四三七―三二六〇) あるいはハガキでお願いします。



(たて594mm×よこ420mm)

本会リーフレット

本会を紹介するリーフレット(和英併記)ご希望の方は本会事務局(電話〇三―三四三七―九二七五)までご連絡ください。



■ 加盟団体訪問

臨濟宗 円覚寺派



臨濟宗円覚寺派宗務本所を訪問し、林良道宗務総長、秋田展由庶務部長、齋藤宗憲教学部長、武久宗靖宗務部員にお話を伺った。

(文責 社会部)



(中央)林宗務総長、(右)秋田部長、(左)齋藤部長

臨濟宗円覚寺派の沿革についてお聞かせ下さい

円覚寺は、瑞鹿山円覚興聖禪寺と号し、かつて鎌倉五山第二位の寺格を有した寺で、臨濟宗円覚寺派の大本山であります。弘安五年(一二八二年)、時の執権北條時宗公が開基となり、中国の名僧佛光國師(無学祖元)を開山第一世に迎え開堂の儀を行い、約七二〇年の歴史をもつ寺です。

一般の方が参加できる坐禅会についてお聞かせ下さい

僧侶のためだけではなく、一般の方々への日曜説教会や毎朝の暁天坐禅会、一泊で行う土日坐禅会、年四回・三・四泊で行う学生坐禅会を行っています。以前は、学生の方が多かったのですが、近年では中高年の方が多くなりました。学生の方は、あまり長続きしません。やはり中高年の方は、人生の悩みや壁にぶつかったりしているからでしょう。外国の方の受け入れについては、日本語の出来る方や通訳がいらっしゃればいいのですが、

まだ受け入れ体制が整っていないのが現状です。

また、夏期講座は講師を招いて毎年四日間行い八百名の参加者があります。

ご修行についてお聞かせ下さい

臨濟宗では、全国どの僧堂に入ってもいいことになっておりますが、とても厳しい修行を三年以上積む人が多いです。また、最近、岐阜県に尼僧専門の道場が出来ました。

IT(情報技術)の活用について

宗派としてホームページは開設しておりませんが、宗務本所内をLANで結び日常の業務を行っています。また、臨黄合議所(臨濟宗各派及び黄檗宗十五派で構成し、宗派間の情報交流等を行う)では、ホームページ(<http://www.rinnou.net/>)を開設しており、各寺院に、個別のアドレス(パスワード)を配布し様々な情報を閲覧できるようにしております。一般の方には、各宗派・本山の情報や禅寺・龍めぐり(平成十二年特別企画)、各地域の寺院情報を抽出できるようにしております。

宗派として、これから取り組まれることについて

寺庭婦人や尼僧の待遇のことですが、住職が亡くなられ、後継者がいらつしやらないと寺族がお寺から出ていかななくてはならない状

況があります。寺庭婦人の地位の向上やその対応をどうしていくべきか考えていかなくはなりません。また、尼僧について、長年の修行を積まなければ一人前と見なされない現状がありますが、時間的に厳しい状況もあります。どういう形で対応していくか、考えていかなければなりません。

また、住職になると研修などの時間が減少する傾向にあります。しかし、僧侶の質の向上を心がけ宗派として、住職研修会等に取り



国宝の舎利殿

組んでいかなければと思っております。
最後に全日本仏教会へ望まれることはございますか

ある研修会で、講師の女医さんが末期の病人に對しての心のケアも、私たち僧侶の務めではないかと話されました。もっともなことで、私たちは亡くなられた方に対して枕経を行っていますが、臨終を迎える方へのターミナルケアについて、宗派を問わずどのような取り組みを行っているか、私ども宗門や各寺院へ情報を発信していただければと思います。

また、住職研修会を年一回行っておりますが、他のご宗派が研修会等でのようなテーマで取り組んでいるか、或いは講師先生がどのような話をされたのか非常に興味を持っております。そうした講師の方のご紹介などとして頂ければと思います。

無料法律相談

長谷川正浩弁護士による無料法律相談を毎月第二、第四木曜日の午後開催しております。本会事務局(〇三―三四三七―九二七五)へ事前予約の上おいで下さい。

お願い

本誌発送先変更の場合、事務局迄、ご一報をお願いいたします。

ルンビニー園マヤ堂修復事業 篤志支援者御芳名

(社)全日本仏教婦人連盟様	金、 壹百萬円
法融寺 那須公順様	金、 十萬円
法清寺 奈良康明様	金、 十萬円
光明寺 石上智康様	金、 五十萬円
萬福寺 安本利正様	金、 壹百萬円
照栄院 石川恒彦様	金、 十萬円
龍泉寺 壽山良知様	金、 十萬円
信松院 西村輝成様	金、 十萬円
保壽院 藤原知徳様	金、 十萬円
佛教大学 佛教青年会様	金、 壹百萬円
高福院 川高宏之様	金、 十萬円
妙高寺 吉橋勝寛様	金、 五十萬円
慈眼寺 櫻井大乗様	金、 五十萬円
慈眼寺 櫻井英幸様	金、 五十萬円
西新井大師總持寺 濱野堅照様	金、 五十萬円
浄運寺 野口善教様	金、 十萬円
長慶寺 島田弘道様	金、 十萬円
善林寺 真柄信雄様	金、 十萬円
羅漢寺 水野和子様	金、 十萬円
圓通寺 矢萩信顯様	金、 十萬円
金剛院 梅花講・森和久様	金、 二萬円
實相寺 山田一真様	金、 十萬円
近龍寺 豊田英世様	金、 十萬円
月島テレビ商會様	金、 十萬円
立正保園様	金、 十萬円
全昌院 安達良元様	金、 十八萬六千円
西有寺 横山敏明様	金、 參萬円
明順寺 齊藤明聖様	金、 五十萬円
能仁寺 萩野映明様	金、 三十萬円
西福寺 加納博司様	金、 三十萬円
妙本寺 加藤日暉様	金、 五十萬円
豪徳寺 粕川鐵禪様	金、 壹百萬円
法蔵院 杜多徳雄様	金、 三十萬円
善光寺 山西智彦様	金、 三十萬円
圓通寺 岩田文有様	金、 十萬円
圓通寺 森和久様	金、 壹百萬円

※篤志の振込先口座番号(郵便振替) 〇〇一三〇一六一三七六〇〇

加入者名(財)全日本仏教会

ルンビニー園復興協力金と明記下さい

※本件に関するお問い合わせ 全日本仏教会国際文化部

電話 〇三―三四三七―九二七五

事務局録事

十月(十一～三十一日)

十五日 駒澤大学開校百二十周年記念祝賀会出席
十六日 局内会議

十七日 總持寺大道晃仙新貫首晋山式出席
十七日～十九日 部落解放研究第三十六回企画集會出席
二十三日～十一月一日 ルンビニーマヤ堂発掘
遺物管理移管作業(ネパール)

二十三日 日宗連幹事会・理事会
法律相談室

二十四日 財政検討委員会

二十五日 全日本婦人連盟大会・二條恭仁子
会長追悼会(全仏副会長) 出席

二十八日 日宗連和泉正二事務局長御尊父葬儀参列

三十日 臨濟宗円覚寺派宗務本所訪問

三十一日 浄土宗西山禅林寺派永観堂寺室内覽會出席

十一月(一～十三日)

一日 局内会議

和宗四天王寺加藤準道元管長葬儀参列
四日 大本世界宗教者の祈りとフォーラム出席
七日 仏教NGOネットワーク設立呼びかけ人の集會出席
七～九日 医療司牧評議會国際大会出席(バチカン)

八日 同和研修会

十二日 局内会議

十三日 理事会

大阪府佛教徒大会出席

人事

就任

常務理事

評議員

ルンビニー委員
信教の自由に関する委員
税務委員
退任
常務理事
評議員

ルンビニー委員
信教の自由に関する委員
税務委員

有田惠宗(曹洞宗)

瀧 英徳(曹洞宗)

有田惠宗(曹洞宗)

瀧 英徳(曹洞宗)

佐藤良彦(曹洞宗)

宮川敬學(曹洞宗)

市河雄峰(曹洞宗)

河村松雄(曹洞宗)

荒澤義範(曹洞宗)

瀧 英徳(曹洞宗)

佐藤良彦(曹洞宗)

河村松雄(曹洞宗)

大竹明彦(曹洞宗)

加藤俊雄(曹洞宗)

大竹明彦(曹洞宗)

加藤俊雄(曹洞宗)

檀上尚道(曹洞宗)

森 嶺雄(曹洞宗)

黒柳祖道(曹洞宗)

乙川映元(曹洞宗)

宮前正道(曹洞宗)

加藤俊雄(曹洞宗)

森 嶺雄(曹洞宗)

乙川映元(曹洞宗)

加藤準道師

十月二十七日遷化 八十三歳
和宗元管長

哀悼

財団法人仏教伝道協会設立四〇周年

「釈尊を讃えて」

第十一回 世界仏教音楽祭

主催 財団法人仏教伝道協会

日時 十二月六日(金)午後六時三十分開演

会場 本願寺築地別院本堂

参加費 三千元

問い合わせ 財団法人 仏教伝道協会

電話 〇三(三四五五) 五八五一

戒名・法名リーフレット

一部百円。頒布ご希望の方は、FAXまたはハガキで、①氏名、②一般と寺院の別、③希望部数、④住所・郵便番号、連絡先電話番号を明記して本会総務部へお申し込み下さい。(送料・梱包料は別途ご請求。同封の振り込み用紙でお振り込み下さい。)

申込先 東京都港区芝公園四一七一四

明照会館内 全日本仏教会総務部

FAX 〇三三四三七一三二六〇